ハウスドクター 千葉県知事許可（般-22）第39322号
あっ！そうだ おぬまにきいてみよう！
有限会社 住まい工房おぬま
オンライン相談会（開催中） 地元で信頼と実績
千葉市稲毛区天台 5-21-12 25年目
0120-811-606
http://www.onumakobo.net

全国地域紙協議会加盟紙

稲毛新聞

2021年 5月号 Vol. 296
年間郵送購読料3,000円
130,000部配布

http://www.chiba-shinbun.co.jp メール=info@chiba-shinbun.co.jp

出雲大社 千葉総国講社
千葉市若葉区東寺山 560 番地
東寺山交差点入る
043-441-8928

■発行責任者・佐 藤 節 子 ■発行・㈲稲毛新聞社 〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台2-5-2-1 電話043-256-4414㈹ FAX043-256-4494

「明治天皇行幸碑」敷地に廃棄物

長年にわたり放置されたままの石碑

法の規定で動けない千葉市

JR稲毛駅東口交差点から稲毛浅間神社に向かう道路、JRのガードを潜ってすぐ左側に石碑が立っている。明治15年（一八八二年）5月に明治天皇がお立ち寄りになったことを記念して、明治29年（一八九六年）に建立されたものである。碑の表には「明治15年5月4日千葉郡中野原對抗運動御幸之際御野立所」との記載があり、裏面には「明治29年3月2日稲毛區民建立」と刻まれており、「ケミ川 小川忠蔵 刺」と製作者も彫られている。地元には知られている記念碑であるが、この碑のまわりに廃棄物が放置されており、見栄えが悪いし、何より行幸碑のありようとしていかがなものかとの意見が本紙に寄せられた。

編集部が取材したところ、廃棄物処理法の規定で地権者が廃棄物の撤去をすべきであり市は手を出せないこと、所有者に取材しようにも、もともとは部落の土地であったとはいえ、所有者が明治の時代に86名の共有名義になったままであることから、撤去義務者である現在の地権者の特定ができないことなど、解決困難な複数の問題が混在していることが分かった。

86名の共有名義

平成9年に敷地内に設置された千葉市教育委員会の案内板によれば、明治15年に明治天皇が近衛師団による演習を ご覧になるために、この地で休息を取られたとの記載がある。

教育委員会によれば、地元からの要望により案内板を設置したものであり、教育委員会が石碑や土地を管理しているわけではないとしている。市のほかの部署に照会しても、市が管理または支援しているわけではないというのが回答だった。

明治 天 皇 御 野 立 所

この地は明治15年（1882）5月、明治天皇が近衛師団（天皇を守る軍隊）対抗演習をご覧になるため、八街市丹尾台、千葉市緑区東山科町西谷ヶ原に行幸されたときに休息をとられた所です。この時の日程は次のとおりでした。

5月1日 近衛騎兵1小隊を従え、伏見・北白川の両宮及び大山巌参謀等とともに、赤坂仮御所を出発され、江戸川軍橋を渡り、市川～船橋～稲毛を通り、千葉女子師範学校（千葉市中央西防墓付近）に宿泊されました。

5月2日 諸大喜一仁戸名一東山科一和泉をへて、丹尾台及び大塚に機動演習を天覧され、中野町の鈴木方に お泊まりになりました。

5月3日 鷹狩り明け方、四谷ヶ原で演習を統監され、再び千葉女子師範学校に宿泊されました。

5月4日 稲毛～幕張と進み、船橋に お泊まりになりました。

5月5日 市川を経て皇居に ご帰還になりました。

平成9年 千葉市教育委員会

教育委員会案内板の内容

写真をご覧いただきたい。石碑のそばには廃棄された木製の納屋のようなものや廃材が放置されている。傾いている物置などが雑然と捨てられている。石碑の周りには石碑の建立場所を示す4体の石が埋められているが、枯れ枝や一部のゴミはその領域内に入り込み、石碑本体に接してしまっている。

明治天皇の行幸碑であることを知っている人々にとっては、許しがたい無礼な扱いであると言えるであろうし、稲毛駅のすぐそばの街中としては極めて残念な光景であることは間違いないだろう。

市道上のコミステーションに不法に捨てられたごみは市が回収することがあっても、マンションのごみ置き場にほかの住人が粗大ごみを捨てていった場合、管理組合が費用を負担して処分しなければならないのはそのためだ。だから管理を厳しくせざるを得ない。

この石碑のごみの撤去も地主が行わなければならないが、この土地はもともと地域の所有地であり、明治時代の86名の共有名義になったままであることから、市に協力を要請しても、私有地である以上、行幸碑の敷地であるとしても、市がゴミの撤去に乗り出すことは考えにくいところだ。

地権者特定は困難

江戸時代に成立した下総国検見川村、畑村、稲毛村は、明治時代になって葛飾県に所属し、のちに印旛県と統合され、印旛県が木更津県と合併して千葉県となったが、明治22年にこの3村が合併して一つの千葉郡検見川村が誕生、明治24年に町制施行により千葉郡検見川町となり、昭和12年2月11日に千葉市に編入されて「千葉市稲毛」になるまで、稲毛は、検見川と稲毛で、「検見川町稲毛」であった。石碑の裏面に「ケミ川 小川忠蔵 刺」と彫られているのはその名残であって、現在の稲毛駅界隈も当時は検見川の一部であったことがうかがわれる。

登記制度ができる以前の古い土地台帳によると、石碑がある一稲毛東三丁目は、明治時代の字が「上穴川」だったことがわかる。

その土地の帳のころから石碑のある土地の地目は「原野」であり、当初の所有者の記載は「村中持」（むらじゅうもち。地域・部落の財産であることを表す）から86名の共有名義に所有者が変更され、それが現在の登記簿にそのまま引き継がれている。

名前だけが86名分記載されているだけで住所の記載はないから本人の特定が困難であり、そこから現在の正式な相続人を探し出すのは不可能としか言いようがなく、地権者の特定が困難である以上、法律の定めどおりに地権者に撤去を求めることはできず、関係者は困惑している。

本紙は、様々な問題を内包しているこの案件に取り組み、数回にわたり連載でこの問題を取り上げていきたい。また、取材を進める中で解決法を探ることができればと願っている。

【取材 武田弥太郎】

弊社 代表取締役 佐藤正成 天寿を全ういたし去る4月8日81歳の生涯を閉じました。

なお葬儀は4月11日に近親者のみにて相済ませました。ここに生前のご厚誼を深謝し謹んでご通知申し上げます。

今後は妻、佐藤節子専務取締役が代表となり、従来通りの業務を継続していく所存でございます。変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

有限会社 稲毛新聞社

かしじょうみゃくりゅう
下肢静脈瘤は早期の発見が大切です
足にこのような症状はありませんか？

※イラストはCGイメージ
☑こむら返りで夜中に目が覚める
☑足が重い・だるい・つる
☑足の血管の膨らみと痛み
☑膝から下の皮膚が硬く黒ずんでいる
☑足の血管がボコボコ浮いている
☑足の皮膚のボコボコとカユミ

ちば下肢静脈瘤クリニック 院長 姫田 十二
上記の症状がある方は下肢の血管状態の悪化、もしくは下肢静脈瘤の可能性がありますので、静脈瘤検査を受けられることをおすすめします。
静脈瘤検査(無料)を開催致します。【要予約】【日程をご確認下さい】
無料 無料静脈瘤検査は保険外検査
静脈瘤検査
開催場所 ちば下肢静脈瘤クリニック
検査項目 ●超音波（エコー）による足の血管チェック ●下肢静脈瘤
静脈瘤検査日程
日程 5/7(金)、5/11(火)、5/14(金) 5/18(火)、5/21(金)、5/25(火) 5/28(金)
※無料静脈瘤検査は電話予約制です。お電話の際に、無料静脈瘤検査を希望の旨、必ずお伝えください。
ちば下肢静脈瘤クリニック ☎043-307-5115
千葉市中央区富士見1-2-11勝山ビル6階 JR千葉駅東口 徒歩3分 ※駐車場はございません

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9時～12時	○	○	○	×	○	○	×
13時～17時	○	○	○	×	○	○	×

※診察の際は、健康保険証をお持ちください。 予約制

タクシー・ハイヤーのご用命は…
稲毛構内タクシー
本社 ☎043-279-1234(代)
■営業時間／AM4:00～翌AM2:00

2000年10月JLNAブロンズ優秀賞受賞・2007年12月ローカル新聞大賞ノミネート（BSフジ）

INAGE-SHINBUN

2021年 5月号 Vol. 296
年間郵送購読料3,000円
130,000部配布

http://www.chiba-shinbun.co.jp メール=info@chiba-shinbun.co.jp

ビックリ価格のペンキ屋 塗料本舗
期待30 塗料塗装 美匠塗装が自信を持ってオススメ！
高級シリコン塗装パック 45万円
美匠塗装 千葉市若葉区加曽利町984-11
お問い合わせ 0120-18-2922 担当/前島（スズカ）

■発行責任者 佐 藤 節 子 ■発行 ㈲稲毛新聞社 〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台2-5-2-1 ☎043-256-4414㈹ FAX 043-256-4494

市民ガイド

◎千葉県立美術館

コレクション展第1期

▼期間・5月23日（日）まで開催中。内容★名品1-技法の趣・浅井忠の「藁屋根」高村光太郎の「手」石井林響の「木華開耶姫」第1・第2展示室★浜口陽三-闇と色彩の戯れ-ピロードのような闇と淡い色彩が織りなす浜口の版画芸術を紹介。第3展示室★働くとき、休むとき-美術の中のさまざまな日常-さまざまな人々の日常の中の働く姿と休む姿を捉えた作品。第8展示室

コレクション展第2期

▼期間・5月29日（土）～7月4日（日）内容★名品2-技法の趣2-浅井忠の「フォンテンブローの夕景」やミレーの「垣根に沿って草を食む羊」日本画では東山魁夷の「春雪」ガラス工芸の藤田喬平の「飾」など各分野で優れた業績を残した作家の作品。第8展示室★香取秀真-近代金工と古典-千葉県印旛郡に生まれた香取秀真は古典的で格調高い金工作品で評価を受け文化勲章をうけました。代表的作品のほか梵鐘調査資料などを展示。第3展示室★作家たちの青春と外国 - 若き作家たちが外国で得たもの-明治・大正・昭和の一時期を外国で過ごした作家たちは、そこで如何にして過ごし、何を得たのか。また帰国後その体験をどのように政策に活かしたのか。各作家が外国で政策した作品を軸にしてその当時の暮らしぶりやエピソードを交えて紹介。

第1・2展示室▼入場料・一般300円（240円）高校・大学生150円（120円） （ ）内は20名以上の団体料金。中学生以下・65才以上の方・障害者手帳をお持ちの方と介護者1名は無料※6月15日（県民の日）はどなた様も無料

▼問い合わせ・TEL043-242-8311 FAX043-241-7880

◎千葉市美術館

市美術館企画展 大・タイガー立石展
POP-ARTの魔術師

絵画、陶彫、漫画、絵本、イラストなどのジャンルを縦横無尽に横断しながら独創的な世界を展開したタイガー立石（立石紘一、立石大河亞1941-1998）。時代や社会を象徴する人物やイメージなどを多彩に引用して描かれたその作品は、和製ポップ・アートの先駆けとして注目を集めました。1965年からはナンセンスな漫画も描きはじめ、子どもたちの間で流行した「ニャロメ」という言葉は赤塚不二夫と交流があった彼の造語でした。その後イタリアへ渡り、1985年からは千葉市と市原市を拠点に活動し、絵本や陶彫作品も制作しました。本展では、日常があべこべになるような立石の不思議で魅力的な世界を、約200点の作品・資料からひもときます。

▼現在開催中～7月4日（日）まで▼時間10時～18時（金・土は20時まで）▼休館日：5月6日（木）・24日（月）、6月7日（月）▼会場：市美術館8、7階展示室▼料金一般1,200円、大学生700円、高校生以下無料▼問い合わせ：市美術館▼電話：043-221-2311

◎背骨コンディショニング 腰痛解決講座

稲毛新聞4月号「今月の人」をご覧になった方から多くの問合せをいただいたので千葉で講座を開催します。▼期日：5月23日（日）13:30～16:30▼会場：千葉市中央区新千葉2-1-8トーヨータノビル2階（ツヅキ整骨院）※開催会場へのお問合わせはご遠慮ください▼定員３名▼申込締切日5月14日▼受講料5,500円税込▼主担当講師：高梨嘉代▼参加条件：骨折、外傷、妊娠、あるいはその疑いや可能性のある場合はご遠慮ください▼受講特典：ベーシックブックと仙骨枕を贈呈（すでに本や仙骨枕をお持ちの方も特典や受講料に変更なし）▼持ち物：受講料・筆記用具・フェイスタオル・動きやすい服装・ストレッチ（ヨガ）マットまたはバスタオル▼申込み：背骨コンディショニングＨＰからhttps://www.sebone-c.org▼キャンセル料：受講日14日前から料金の20%

◎ギャラリー古島

「アジアの布コレクション展」
5月14日（金）～5月16日（日）
「第7回 墨の樹 書展」
5月22日（土）～5月25日（火）
☆ギャラリー古島・中央区春日2-25-11・2F（JR西千葉駅西友側徒歩1分）TEL043-243-3313 FAX 043-241-3041

今月の人

異業種とのコラボで新たな道を切り開く
なのはな整骨院
株式会社アテンド 代表取締役
金 英泰さん（43歳）稲毛区在住

稲毛駅東口から徒歩1分、「なのはな整骨院」を運営するのは株式会社アテンドの代表取締役、金英泰さん。

子どものころからスポーツ好きだった金さんは、小学3年生から学生時代を通してサッカーに打ち込んでいた。サッカー中の怪我がきっかけで人体や治療に興味を持ち、暁星国際高等学校卒業後は柔道整復師・鍼灸専門学校へ。地元のサッカーチーム「FC千葉なのはな」に所属していた当時の縁が現在の「なのはな整骨院」開業につながっているという。

新型コロナウイルス感染症の影響で経営状況が厳しくなっている整骨院も多いようだが、なのはな整骨院でも昨年から来院する患者が減っているとのこと。そこで金さんは自宅療養中の方や歩行が困難な方のために、訪問リハビリ等の往診を開始。

その後、訪問施術の需要は増え続け、今では全体の４割近くまで伸びた。また、デイサービス・介護施設・レストラン・歯科医など他の業種とコラボした施術も好評で、様々な企業と関わり共に課題に取り組んだ結果、新たな道が開けたと語る。「連動・食事・歯の治療といった本来、別々のサービスと私たちの施術を組み合わせることで、お役に立てる場が増えてきました。企業さんの取り組みのなかでの課題に、弊社がどのように力になれるのかと考えて生まれたサービスです。患者さんからも企業さんからも喜んでいただいています」。

なのはな整骨院で提供される施術はすべて有資格者スタッフによるもので、その効果だけではなく親切丁寧な対応も患者さんから定評がある。「スタッフの質に自信があります。礼儀正しく人柄もよく、朝礼で言ったことも素直に実行してくれますし、どこへ出しても恥ずかしくない人材ばかりです」と金さん。そんなスタッフが安心していつまでも働けるようにと、業務の効率化や労働時間の短縮化、有給消化の促進など労働環境の整備にも力を入れてきたという。

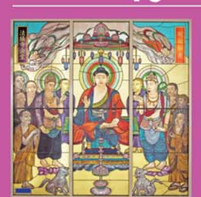
金さんが目指すのは人に寄り添う会社。「困っている人に対してどうサポートできるのかを常に考えて行動してきました。それを喜んでもらえたからこそ今の自分があります。これからも人とのつながりを大切にしながら、得意分野を生かしお手伝いできることを追求していきます」◇なのはな整骨院◇稲毛区小仲台6-2-8◇043-239-7092

【取材 真田はる代】

千葉県唯一の中古フィルムカメラ専門店 ●ご不要のフィルムカメラ、お売りください！●お気軽におもちください！
カメラ買います！

●デジカメの買取はいただいておりません。
中古カメラ・総合写真ショップ
ぷりんと工房 小仲台店
☎043-207-6950 駐車場完備
千葉市稲毛区小仲台 8-8-1-102 営業時間 10:00～18:00 金曜日定休
ニコン・キヤノン・オリンパス・ペンタックス・ミノルタ
コンタックス・ヤシカ・フジ・コニカ・マミヤ・ブロニカ
ライカ・ローライ・ペトリ・ミランダ・コシナ・チノン etc

萬徳院 釈迦寺
稲毛大納骨堂
ＪＲ稲毛駅すぐ

特別合祀
月命日読上供養付き
募集中
●僧侶による毎日の読経供養
●充実した施設
●寄付の強要なし
●ローンの準備もございます
大納骨堂・合祀墓
お一人様用 40万円～ 特別合祀 25万円

美しいステンドグラス

安心の対面式納骨堂

お問合せ先
0120-787-800
〒263-0031
千葉市稲毛区稲毛東4-12-2
https://www.syakaji.jp